



▲鹿屋東中学校サッカー部と練習試合をする完州中学校サッカー部員



▲回い握手で労をねぎらい、再会を誓い合う選手たち



▲心と心でふれあったホームステイ



▲試合後、監督の指導を熱心に聴き入る完州中学校サッカー部員



▲市内外視察研修で桜島をバックに記念の1枚



▲試合後、子どもたち全員で記念写真を撮影  
鹿屋東中学校サッカー部員（黄ユニホーム）、完州中学校サッカー部員（赤白ユニホーム・黒ジャンパー）、大隅 NIFS（青ユニホーム）  
＝野里運動場（1月7日）



▲歓迎セレモニーで、交流団長と選手代表キムソンロクさんにバラの花束を贈呈

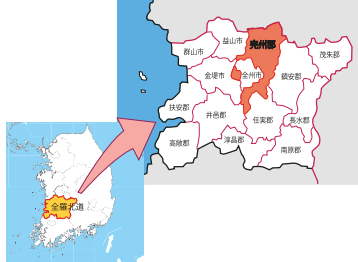
## 日韓の中学生が交流 日韓友好親善とサッカーの技術向上を目指し、 熱くフィールドを駆け抜けた8日間

鹿屋市は日韓青少年友好親善交流事業の一環で、旧串良町の三つの小学校が1993年から完州郡に隣接する全州市の北一初等学校と相互ホームステイ交流を重ねてきました。今回の交流は、今後の交流のあり方について協議をするため宮下教育長が訪韓した

鹿屋市は日韓青少年友好親善交流事業の一環で、旧串良町の三つの小学校が1993年から完州郡に隣接する全州市の北一初等学校と相互ホームステイ交流を重ねてきました。今回の交流は、今後の交流のあり方について協議をするため宮下教育長が訪韓した

韓国全羅北道完州郡（人口84,660人、2011年12月末）の完州中学校サッカー部合宿交流団の部員と指導者が1月4日、鹿屋市を初訪問し、歓迎セレモニーが市役所で行われました。同サッカー部は全国優勝の実績もある強豪チームで、国立大隅青少年自然の家

完州中学校は、学級数22、生徒数672人。サッカー部とバドミントン部が特に優秀で、全国大会優勝の実績を持つ学校。郷土芸能や創作芸能など、文化活動でも活躍を見せています。芸術体育領域体育重点研究学校や学力向上形創経営学校等に指定され、その教育活動が内外から高い評価を受けている完州郡の中心校です。



際、完州中学校のバク・キョン工校長をはじめ全羅北道の教育関係者から中学生の交流を提案され、その第一弾としてサッカー部の合宿交流が実現したものです。今後、サッカー部の合宿だけでなく、相互ホームステイなど各種交流についても完州中学校からの強い希望があることから、市としても今後の交流のあり方を検討することとしています。